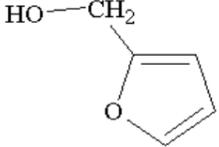
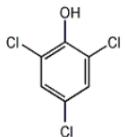


平成31年有害物ばく露作業報告検討物質の情報

No.	グループ	名称 (CASNo.)、構造式	物理・化学的性質	用途及び製造量等	発がん性 評価区分等 (※1) (※2)	その他の有害性 (※2) (GHS分類が区分1 のもの)	管理濃度等 (※3) (※4)	作業環境の 測定方法	備考
1	IARCで Group2B以 上の評価と なっている 物	テトラヒドロフラン(109-99-9) 	液体 無色 エーテル類似臭 融点 -108℃ 沸点 65℃ 蒸気圧 145 mmHg (20℃) 比重 (相対密度) 0.8892(20℃/4℃) (※5)	合成樹脂・塗料・接着剤溶剤, 医薬・農薬製造反応溶媒 (※2) 製造・輸入量 19,296 t (平成27年度) (※6)	IARC 119 group 2B (ヒトに対して発がんの可能性がある) EPA S (発がん性を示唆する物質) EU 2 (ヒトに対する発がん性が疑われる物質)	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (中枢神経系) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (中枢神経系)	管理濃度 50 ppm 日本産衛学会 (2015) 50 ppm 皮膚 ACGIH(2002) TWA 50 ppm STEL 100 ppm	試料採取方法; 固体捕集方法又は直接捕集方法 分析方法; ガスクロマトグラフ分析方法 (作業環境測定基準)	安衛令別表第1危険物 安衛令別表第9第367号 第2種有機溶剤 化審法優先評価化学物質
2	IARCで Group2B以 上の評価と なっている 物	フルフリルアルコール(98-00-0) 	無色の液体。光、空気にばく露すると赤色又は茶色になる。 特徴的な臭気 融点 -15℃、-14.6℃ 沸点 170℃、171℃ 蒸気圧 53 Pa (20℃)、81.2 Pa (25℃) 比重 (密度) 1.13 (※5)	フラン樹脂原料, 樹脂変性剤, 溶剤 (※2) 製造・輸入量 10,000~20,000t (平成27年度) (※7)	IARC 119 group 2B (ヒトに対して発がんの可能性がある) EU 2 (ヒトに対する発がん性が疑われる物質)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (呼吸器)	日本産衛学会 (1978) 5 ppm ACGIH(1979) TWA 10 ppm STEL 15 ppm Skin	試料採取方法; 固体捕集方法 分析方法; ガスクロマトグラフ分析方法 (NIOSH 2505)	安衛令別表第9第491号
3	再告示物質	2, 4, 6-トリクロロフェノール(88-06-2) 	固体 フェノール臭 融点 69.5℃ 沸点 246℃ 蒸気圧 0.008 mmHg(25℃) 比重 (密度) 1.4901(75℃/4℃水): (※5)	染料中間体, 殺菌剤, 防腐剤 (木材用) (※2) 排出量 0 kg、移動量 6 kg (平成27年度) (※8)	IARC 117 group 2B (ヒトに対して発がんの可能性がある) EPA B2 (おそらくヒト発がん性物質 (動物での十分な証拠あり)) NTP R (ヒト発がん性があると合理的に予測される物質) EU 2 (ヒトに対する発がん性が疑われる物質)	水生環境有害性 (急性)	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	試料採取方法; 酸化防止剤を含浸させた捕集管に、大気試料を通気して捕集。 分析方法; GC/MS-SIM (化学物質分析法開発調査報告書 (平成24年度))	PRTR法: 第1種指定化学物質 平成26年度発がん性WG (文献調査によりIARC 1-2B相当と判定されたもの)
4	パブリック コメントで の提案	フラーレン(99685-96-8ほか) C ₆₀ 、C ₇₀ ほか	固体 融点 1,180℃ 1次粒子: 0.7~1.0nm 2次粒子: 10~70µm (※9)	医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器、フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料、プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤、作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油剤、電気・電子材料 製造量 1t未満 (平成27年度) (※10)	-	-	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	試料採取方法; 導電性サンプラーによる捕集 分析方法; 高速液体クロマトグラフ法 (平成27年度厚生労働省委託事業)	-

※1 List of Classifications Vol1-119 (IARCホームページ)

※2 化学物質総合情報提供システム (CHRIIP)

※3 日本産業衛生学会の許容濃度の勧告 (2016年度)

※4 2016 ACGIH化学物質のTLVs (ACGIHのばく露限界値)

TWA: 8時間時間加重平均, STEL: 短時間ばく露限界, Skin: 経皮吸収

※5 職場のあんぜんサイト (厚生労働省HP) のモデルSDS情報

※6 平成27年度優先評価化学物質の製造・輸入数量 (経済産業省)

※7 平成27年度一般化学物質の製造・輸入数量 (経済産業省)

※8 第一種指定化学物質の排出量・移動量の集計結果等 (平成27年度) (経済産業省)

※9 ナノマテリアル安全対策調査事業 (平成26年度) (厚生労働省請負事業)

※10 ナノマテリアル情報提供シート (平成28年度) (経済産業省)